

児童氏名	学年	記入者	日	日	日	日	日	日	日

国語

< I. 聞く >



とく
 まれ
 ない
 1
 2
 3
 4

1. 音韻認識（音としてとらえる段階）に問題がみられる

- a. 聞き間違いがある（例：花を穴、箱をはんこと聞き間違える）
- b. 特定の聞き取りにくい音がある（例：子音の中でもサ行が聞き取りにくい）
- c. 新しいことばを、なかなか覚えられない（例：固有名詞などがなかなか覚えられない）

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

2. 意味理解に困難がみられる

- a. 指示内容についての理解が困難なため、指示に従うことができない
- b. 話が通じにくいことがある
- c. 簡単な内容や質問でも、誤って理解することがある
- d. 様態や程度を表すことばの理解ができない（例：形容詞や副詞の理解が難しい）
- e. 同じことを表しているが、表現の仕方が違う文の理解ができない（例：「犬が猫をおいかける」←→「猫が犬に追いかける」）
- f. ことばの背後に隠された意味をとらえることができない
（例：鉛筆を忘れた人が言う「鉛筆を持っていますか？」は「鉛筆を貸してください」といった意味がわからない）
- g. 話し合いが難しい

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

3. 注意集中や記憶に困難がみられる

- a. ちょっとした雑音でも、注意がそれやすい
- b. 相手の話を聞いていないと感じられることがある
- c. 話を最後まで聞くことができない
- d. 聞きもらしがある
- e. 聞いたことをすぐに忘れる
- f. 指示を聞き返すことがある

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

< II. 話す >



4. 音声表出に問題がみられる

- a. 発音しにくい音がある（例：「知らない」が「ちらない」になってしまう）
- b. 発音しにくいことばがある（例：「やわらかい」が「やらわかい」になってしまう）
- c. 話す際の抑揚が不自然である
- d. 適切な声の大きさや速さで話すことができない

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

5. 正確にことば（語彙レベル）を用いることに困難がみられる

- a. 的確なことばを見つけられなかったり、ことばにつまったりする
- b. 使うことばの数が少ない
- c. あることばを間違った意味において使うことがある

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

- d. 「行く←→来る」、「あげる←→もらう」などの混乱がみられる

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

6. 正確に文法を用いることに困難がみられる

- a. 主語、述語の文が作れないなど、文法構造の理解ができていない
b. 「は」、「を」、「へ」など、助詞を適切に使うことができない
c.

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

7. 会話（文）においてのやりとりに困難がみられる

- a. 内容をわかりやすく伝えることができない
b. 思いつくままに話すなど、筋道の通った話ができない
c. その場に応じた話をすることができない
d. 単語の羅列や、短い文など内容的に乏しい（例：「やって」）

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

< Ⅲ. 読 む >



8. 一つ一つの文字を読むのに困難がみられる

- a. 平仮名の読み間違いがある
b. 片仮名の読み間違いがある
c. 拗音を読み間違える
d. 習った漢字が読めない →付表「学年別漢字配当表」
e. 漢字の読み間違いがある

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

（例：形態的に似た漢字と読み間違える・・・ 貝→「みる」、石→「みぎ」
意味的に関連のある漢字と読み間違える・・・ 町→「むら」、入る→「でる」
単漢字を勝手に熟語化して読み間違える・・・ 人→「にんげん」、牛→「ぎゅうにゅう」
勝手に送りがなを付けて読み間違える・・・ 白→「しろい」、青空→「あおいそら」

9. 単語を読むのに困難がみられる

- a. 文字の順序を読み間違えたり（例：とおまわり→とおわまり）、混同したり（例：にぐるま→にじまる）して読む
- b. 文字を抜かしたり（例：しかい→しか）、余分な文字を加えたり（例：せんせい→せんせいい）して読む
- c. 促音（例：がっこう→がこう）や拗音（例：でんしゃ→でんしゅ）などの特殊音節を含んだ単語を読み間違える
- d. 初めて出てきた単語や、普段あまり使わない単語を読み間違える
- e. 漢字で表されている単語より、仮名で表されている単語の方が理解しにくい
- f.

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

10. 文章を音読する際に困難がみられる

- a. 助詞の「は」を読む際にも変換せずにそのまま「ハ」、「へ」を「へ」など読み間違える
（例：私は（ワタシワ）→（ワタシハ））
- b. 単語や文節に正しく区切って読むことができない
- c. 勝手読みがある（例：「いきました」→「いました」）
- d. 文中の単語や行をとばしたり、繰り返したりすることがある

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

11. 文章の内容を理解するのに困難がみられる

- a. 文章の内容の大体を読み取ることができない
- b. 文章のなかの場面の様子を読み取ることができない
- c. 事柄の順序を考えながら読み取ることができない
- d. 文章のなかの人物の気持ちを読み取ることができない
- e. 文章の要点を読み取ることができない

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

＜ IV. 書 く ＞



1 2. 文字を書くのに困難がみられる

- 平仮名の書き間違いがある（例：鏡文字「く」→「>」を書く、形態的に似ている「い」と「り」を間違う）
- 片仮名の書き間違いがある（例：鏡文字「テ」→「ㄣ」を書く、形態的に似ている「シ」と「ツ」を間違う）
- 習った漢字が書けない→付表「学年別漢字配当表」
- 漢字の書き間違いがある（例：細かい部分を書き間違える… 「赤」→「志」
へんかつくりを反対に書く… 「粉」→「糝」
意味的に関連のある漢字と書き誤る… 「入」→「出」
- 書くときの姿勢や、鉛筆などの用具の使い方がぎこちない
- 字の形や大きさがうまくとれなかったり、まっすぐに書けなかったりなど、読みにくい字を書く
- 独特の筆順で書く
- 文字を写すのが難しい（例：黒板に書いてあることを写すのが遅い）

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1 3. 単語を正確に表すことに困難がみられる

- 文字の順序を書き間違えたり（例：とおまわり→とおわり）、混同したり（例：にぐるま→にじまる）して書く
- 文字を抜かしたり（例：しかい→しか）、余分な文字を加えたり（例：せんせい→せんせいい）する
- 長音（例：おうさま→おおさま）、促音（例：がっこう→がこう）や、拗音（例：でんしゃ→でんしゅ）、拗長音（例：せんしゅう→せんしょう）などの特殊音節を含む単語を間違えて書く

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1 4. 文を書く上での基本的な構造の理解に困難がみられる

- 主語、述語の文が作れない、順序がおかしいなど、文の組み立てが理解できない
- 「は」、「を」、「へ」など、助詞を適切に使うことができない
- 。、 「 」 など符号を正しく使うことができない

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

1—2—3—4
└─┴─┴─┴─┘

15. 文章を書くのに困難がみられる

- a. 思いつくままに書き、筋道の通った文章を書くことができない
- b. 事実の羅列のみで内容的に乏しい
- c. 限られた量や、決まったパターンの文章しか書かない
- d. 修飾と被修飾との関係に注意して書くことができない
- e. 指示語や接続語の役割と使い方に注意して書くことができない

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘

1 2 3 4
└─┬─┬─┬─┘